



# 季刊学海

## 2020.4 春号

岐阜県立岐阜高等学校・校誌編集委員会

### 目次

終業行事 (12/24) .....	1
年次の和 (2/6) .....	3
卒業式 (3/1) .....	4

離任の言葉 (3/26) .....	10
グローバルリーダー養成事業 (次号にて) .....	16

～～令和元年度～～

◆■12月24日(火)

■終業行事

毎日の学習の着実な積み重ね

校長 折戸 敏仁

12月下旬となり、今年度も9か月が過ぎようとしています。また、令和元年も年末を迎えました。年度の4分の3が終わろうとしています。ここでこうして話をするたびに、今年度どれだけ過ぎた、ということをお話してきました。高校生活全体を見渡し、これまでの道のりを振り返り、今後の道のりを見直す、ということは、千日余りの高校生活において、自分の計画をうまく進め、より良い結果を得る上において重要なことです。

さて、先日、ノーベル化学賞を受賞された旭化成名誉フェローの吉野彰さんの記事を読みました。リチウムイオン電池を開発した方です。小学校4年生の時、担任の先生から勧められた「ロウソクの化学」という本を面白いと思って読んだことをきっかけに科学やモノ作りに興味を持ったそうです。旭化成に入社してからは3つの研究テーマに失敗し、4つ目に取り組んだのがリチウムイオン電池だったそうです。「きっと世の中の役に立つ」と思いました、と言っておられます。「国家の為に明け暮れ学ぶ」、本校の校歌の歌詞と同じだと思いました。根気よく研究を続けてようや

く「これだ」という材料に出会ったものの、最初はなかなか売れずにある時突然売れ始め、今ではパソコン、スマホ、電気自動車などあらゆる場所に使われています。その吉野さんはこんなことを言うておられます。「いくら科学が発展しても、世の中にはわからないことがまだまだたくさんあります。いつかきっと、『これは』というテーマが見つかります。それまでは、たくさん失敗をしてください。失敗から学んだ経験が、きっとあなたを成長させ、困難を乗り越える力になりますから。」

年が明けると3年生の皆さんはセンター試験が目前です。2年次生、1年次生の皆さんはそれぞれ1年後、2年後に同様の時期が訪れます。3年生の皆さんは大学でこんなことを学びたい、という思いをもって今、学習を進めていることと思います。

単調に感じるかもしれない毎日の学習の着実な積み重ねが、皆さんが目指す最高の結果にたどり着く最善の方法だと私は思っています。

1月7日に元気な顔で登校してくれることを期待しています。

挨拶・岐高生様にならないこと・情報モラル  
生徒指導部長 杉山 晴美

こんにちは。今日は3つ話をします。

はじめに11月29日の「太陽の日」での出来事について話します。「太陽の日」には、生

徒会執行部や美化委員、生活委員、有志の人が学校周辺のゴミ拾いをしてくれます。有志として毎回硬式野球部、軟式野球部、書道部なども参加してくれています。そこで私も有志生徒の一つのグループと一緒に学校周辺のゴミ拾いに出かけました。途中、学校近くのお宅の60才代くらいの女性に、有志の数人が「こんにちは」と元気に挨拶しました。後から私が通ると、女性は「気持ちのいい挨拶ですね。心が落ち着くわ。本当に気持ちがよくて、心が落ち着くわ。」と言いつつ、感極まってついには涙声になりました。「うれしくて涙が出てきてしまったわ。」と言っておられました。挨拶ひとつでここまで人の心を動かすことができるのを見て、私も感動しました。これからも、挨拶や配慮を忘れずに、岐阜高校の生徒は素晴らしいと思っただけのようにしていきたいと思います。

次は、他校の生徒から聞いた話です。数年前の話ですが、皆さんにも考えていただきたいので話します。他校の生徒がある塾の冬季講習に参加すると、座席指定となっていました。すると岐阜高校の生徒が、「俺ら岐高生なんやで、一番前にしろよな〜。」と、聞こえよがしに言っていたとのこと。近くで聞いていて非常に不快だったそうです。岐阜高校の生徒だから偉いのでしょうか？自分の心のなかに「岐高生様」の部分がないか、振り返ってみてください。尊敬される岐高生になってください。

3 つめは情報モラルについてです。今年度は学校のICT化が進み、それに伴い情報端末を授業などで活用する場面も増えてきました。また、授業や制服についてのアンケート等、今まで紙ベースで行っていたものも、インターネットベースに変えました。アンケートは生徒の皆さんからの意見を受け止め、授業を含めて学校生活がより良いものとなるよう改善していくためです。非常に参考になる意見も多く、改善に役立っています。しかし一方、

インターネットベースにしてから、言葉が強くなったり、感情にまかせた言葉も増えたりしていると多くの先生が感じています。授業アンケートなのに、授業内容と関係ない意見もあります。インターネット上で匿名となると、相手を傷つける言葉を発するハードルが、無意識のうちに下がるのではないかと思います。これが昨今インターネット上でのトラブルを引き起こす要因のひとつだと思います。また、書く内容だけでなく、その扱いも同様です。先日一、二年次生にアンケートを行いました。勝手に人の写真をSNSに載せたり、LINEなどのやり取りなどを第三者に流したりしたことがある人が、一、二年次生で延べ170人いました。これらはやってはいけないことです。情報端末を使うときは、いつも以上に自分をコントロールして、他の人の立場に立って、その行為が後でどのような結果を引き起こすのかをしっかりと考えた上で使ってください。ちなみに、昨日の制服のアンケートでは、インターネットベースでしたが、岐阜高校としてどうあるべきかについて、個人のレベルを越えて、高い視野から真剣な意見を書いてくれた人も何人かいました。インターネット自体が悪いのではなく、いかにうまく活用できるかが大切です。そのような力を身につけてください。

冬休みに入りますが、以上3点、挨拶・岐高生様にならないこと・情報モラルに加え、交通事故に気をつけて有意義な冬休みを過ごしてください。

backward design

進路指導部長 立川 喜教

全校生徒の皆さん、こんにちは。令和元年を振り返っていかがでしょうか？

私は4月から進路指導部長として、多くの大学関係者、予備校関係者、その他進路指導に関わる関係者に会いましたが、皆さん口をそろえて、「素敵な校舎ですね。公立高校とは思えないですね。びっくりしました。」と言わ

れます。中には見とれてしまい、メディアアベニューを進路指導室の前を通り過ぎて、体育館まで行ってしまった方もみえました。懇談中の午後 FP 室や図書室で自習している姿に驚かれる方もいらっしゃいました。また、「岐阜高校の生徒さんは、しっかり挨拶をされますね」と言われたこともありました。そして、県外の高校から岐阜高校を視察に見える方も多くいらっしゃいました。皆さんは実感がないかもしれませんが、岐阜高校は色々な点において注目をされています。

ところで、皆さんは backward design という言葉を知っていますか？ forward ではなく backward は「方向に」という意味で、forward は「前方」backward は「後方」upward は「上の方」downward「下の方」awkward は awk（～離れた）ward(方向に)から「道を間違えた」「不便な」となり、「不器用な」「ぎこちない」「へたな」と意味になっています。進路は「進む」「路」なので、look forward to ならいいのですが、backward は後ろ向きのようなイメージがあり、進路にはそぐわない感じがありますね。先日、あるテレビ番組で、女子フェンシング選手でオリンピック代表候補の宮脇花輪さんの紹介がありました。宮脇さんは、5 歳でフェンシングをはじめ、小学生で日本代表、中学生で世界チャンピオンになりましたが、勉強もしたいという思いもあり、私立の進学校に進みました。フェンシングを続ける中で、北京オリンピックで男子フェンシングフルール銀メダリスト、現日本フェンシング協会会長の太田雄貴さんに出会い、太田さんから、「オリンピックでメダルを取るには、何年後にオリンピックがあるというのは決まっているから、それまでに、今から 1 年後にはどうゆうふうにして、などの目標を立てて、それを全部ペンで紙に書く。」というのをやるように言われたそうです。宮脇さんはその時に、「太田さんはメダルを取るべくしてとった人なんだ。」と実感したそうです。皆

さんにとって、それぞれ目標があるかと思えます。例えば、志望大学、将来就きたい職業、部活動での目標（県大会ベスト 8）など。その目標を達成するには、どのくらいの期間があつて、どの時期にどんなことができているといいのか、など逆算して考えませんか？これが backward design です。宮脇さんのように、紙に書いてみて、それを例えば自分の部屋をよく目に付くところに貼ってみるなどしてみてはいかがでしょうか。backward design を目にすれば、おのずと自己分析をして、自分のやるべきことが分かるので、あとは行動あるのみです。ぜひこの冬休みに自分自身の backward design を作って欲しいと思います。

年が明ければ三年生はいよいよ大学入試センター試験・私大入試、国公立入試と続きます。三年生の皆さんのこれまでの努力が必ず実ることを信じています。何があつても、自分の信念を貫いてください。最後の最後まで諦めない、その姿勢が大切です。

一、二年次生の皆さんにとって、来年度から始まる大学入学共通テストで、英語資格・検定試験導入の延期と国語・数学の記述問題の導入の見送りが発表されましたが、岐高生のやるべきことはこれまでと変わりません。岐高のカリキュラムの中で、しっかり学習して総合力をつけていけば、多少の変化にも十分対応できると思いますので、皆さんには三年生と同様、高い目標を掲げて突き進んで欲しいと思います。

最後に、来年、令和 2 年が皆さんにとってよい年になることを願っています。

◆■2 月 6 日（木）

■年次の和

令和最初のクイズ大会を成功させるために  
生徒会執行部

令和最初のクイズ大会を成功させるために執行部は約 2 週間前から準備を始めました。大会で用いられるものは問題、画像などすべ

て執行部が制作します。どうすれば楽しんでもらえるか。どうすればよりよいクイズ大会になるか。執行部全員で考えました。特に問題制作には苦勞しました。幅広い知識が要求されるいかにもクイズという問題では、生徒の皆さんに楽しんでもらえませぬ。かといって簡単すぎるとつまらなくなってしまう。ひらめきや発想力が試される「楽しい」問題を制作するのにとても苦勞しました。

また今回は前年度の反省を踏まえて、集計にスマホを用いる、景品を用意する、という2つの新しい取り組みを行いました。新しいことに取り組むことで準備の負担も増えましたが、このことによってクイズ大会がより良いものになったと確信しています。

クイズ大会は多くの人の協力がなければ、決して行えなかつたものです。それぞれ部活など忙しい中でもクイズ大会のために多くの時間を割いてくれた執行部メンバー、クイズ大会を成功させるためにサポートしてくださった先生方、本当にありがとうございました。

### 大いに盛り上がったクイズ大会

#### 生徒会執行部

2月6日、体育館にて生徒会執行部が主催するクイズ大会を行いました。冬の寒さに負けないくらいクイズに熱中する1時間となりました。

このクイズ大会は今年で4回目の開催となります。生徒会では出来るだけ多くの人に楽しんでもらうため、事前の問題作成はもちろん、当日は的確な指示やスムーズな進行を心がけました。新たに導入したネット集計を用いたテンポの良い進行や、入賞者への豪華賞品があったこともあり、どの問題も大盛り上がりでした。

特に好評だったのは国語科の先生方による対話を聞き、その中で用いられている「ギャル語」の意味を推察する、というものです。先生方が迫真の演技をしてくださり、まるでギャル語ネイティブが話しているのを聞いて

いるかのようで会場は大爆笑となりました。岐高の先生は愛されているなど改めて感じる機会となりました。また、先生方に画伯となって絵を描いていただき、何が描かれているか当てる問題では、味わい深い絵が並び、笑いをこらえながらじっくりと鑑賞させていただきました。さらに理科の先生方には反磁性体に関する実験をしていただきました。磁石に付くのはどの物質なのか、仲間同士夢中で議論する姿が見られました。

終了後には「楽しかった」「○○の問題が面白かった」などの声が聞こえてきて、一年に一度の生徒による生徒のための企画を楽しんでもらえたと確信しています。今年は予算折衝と時期が重なり準備が大変でしたが、頑張った良かった、生徒会をやっていた良かったと、嬉しく思いました。忙しい中出演してくださった先生方、動画編集に協力してくれたY君、そして毎日のように生徒会室に残り準備をしてきた執行部メンバー、本当にありがとうございました。今後も生徒会執行部の一員として、より皆さんが学校生活を楽しめるように尽力したいと思います。

### ◆■3月1日(日)

#### ■卒業式

#### 360名が卒業証書を受領

#### 式辞

校長 折戸 敏仁

百里の水、長良川の水ぬるみ、穏やかな春の訪れが感じられる今日のこの佳き日、ここに令和元年度岐阜県立岐阜高等学校卒業証書授与式を挙げるにあたり、同窓会長木方伸一郎様、PTA 会長國井重宏様をはじめ、多くの来賓の皆様のご臨席を賜り、ともに卒業を祝福していただきますことを心から感謝申し上げます。

ただ今、3年生360名に卒業証書を授与しました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今日のこの喜びは、皆さんのこ



これまでの努力の結果であることは言うまでもありませんが、皆さんをいつも気遣い、支えてくださったご家族や周囲の方々の励ましがあつたことを忘れないでください。

また、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございませう。心からお喜び申し上げます。私たち教職員一同にとりまして、本校での3年間の学びを終え、生徒一人一人が飛躍する姿を見ることは大きな喜びです。

ふりかえってみますと、卒業生の皆さんは、平成29年4月、夢と希望を胸に、輝かしい歴史と伝統を誇る本校に入学されました。それから3年間、「百折不撓・自彊不息」の校訓のもと、知性と精神性を高い次元で統合した「トータル・パーソン」を目指し、毎日の授業、部活動、「岐高祭」など様々な学校行事、また、生徒会活動に持てる力を十二分に発揮し、挑戦、活躍をしてくれました。本校で素晴らしい仲間と出会い、切磋琢磨し、皆さんそれぞれが大きく成長したと確信しています。

さて、今日、人口減少、超高齢社会の到来、グローバル化、情報化の急速な進展や人々の価値観の多様化などにより、社会には様々な課題が山積しています。そうした時代の中で、皆さんが将来を考える上で、参考となるよう、本校では多様な「グローバルリーダー養成事業」を実施してきました。

今年度、そのプログラムの一つとして、基調講演会において講演をお願いした東海旅客鉄道会社代表取締役会長 柘植康英氏が講演後に書いてくださった色紙には次のようがありました。

「学生時代の経験の全てがその後の人生の糧 積極的な活動で能力、人間力に磨きを」

皆さんはこれからそれぞれの目標をもって新しい世界へと進み、目標達成へ向けて行動してゆくことでしょう。そこでは、「積極的な活動」、私の理解として表現するなら「新しいことに挑戦する行動力」が大切だと思っています。しかし、その過程で理想通りに物事が

運ぶことはなかなかありません。そうした場合に必要なのは「修正力」です。現実をしっかりと見据え、状況に合わせて何度でも柔軟に計画に変更を加えることです。皆さんのこれまでの学習の過程では自分の良さをより一層伸ばしたり、あるいは、足りないところを補ったりし続けた「修正」の結果として今があるのだと思います。変化の激しい現代社会だからこそ、大きな目標へ向かって自らの今の位置を俯瞰し、修正を加えて進んでゆくことが求められているのです。

校訓の「百折不撓」とは、どのような困難に出会っても決して怯むことなく、限りなく挑戦し続けること、「自彊不息」とは、常に怠けず、自ら努め励むことを意味しています。皆さんには、様々な分野で、岐阜県だけでなく、日本、あるいは世界をリードするとともに、常にふるさと岐阜を忘れることなく、どこにいても、生まれ育った岐阜に貢献することを忘れない、高い志とグローバルな視野をもって未来を切り拓いていく、まさに「グローバルリーダー」として、この校訓のとおり、強い精神力をもって、挑戦し続けてくれることを期待しています。

終わりに、私にとっては2年間でしたが、皆さんと共に過ごしたこの充実した日々を思い起こしながら、改めて皆さんとの「出会い」に心から感謝したいと思います。また、私たち教職員一同は、今日まで皆さんの成長と自立にかかわることができたことを心からうれしく思います。

皆さんが今後より一層成長され、再びこの岐阜高校でお会いできることを楽しみにしています。

心身ともに健康に過ごしていただくとともに、卒業生の皆さんの大いなる飛躍を祈念して、式辞といたします。

祝辞

PTA 会長 國井 重宏

千仞の嶽 金華山

百里の水、長良川…

私はこの校歌が大好きです。なぜならば校歌が岐阜高校卒業生の象徴だからです。そしてこの校歌を歌えばすぐに仲間となることができ、「岐高卒という信頼のネットワーク」で結ばれることができるからです。皆さんもこれから先、今まで以上に歌う機会も増えるのではないかと思いますし、今まで以上にこの校歌を好きになると思います。今は実感しないと思いますが、歳を重ね、岐高卒の方々と交わる度に、岐阜高校のすばらしさを実感されるのではないかと思います。

これから社会に出ると、自分の力の限界を知ることになると思います。これは後ろ向きな話でなく、「自分だけでできることは限られているが、その分、人の力を借りて自分の成果とし、更に自分の世界を切り拓けばよい」という前向きな話です。つまり、いかに人の力を活用するかで自分の力量が無限大になるということです。

そこで有力な味方となるのがネットワークです。今の時代、スマホ一つで情報は無限に入手できますが、果たしてその情報が本当に信頼できるかとやきもきすることも多いです。しかし私の経験上、岐高卒のネットワークを活用すれば、いつも問題を解決することができ、お客様にも喜んでいただき、本当に助けられています。

別の例として、私や家族、会社の仲間の身体は岐高卒の立派な医者によって守られています。外科、内科、整形外科、耳鼻科、歯科、泌尿器科、脳外科、精神科、すべて岐阜高校の友人です。弁護士、公認会計士、弁理士、設計士などにも仲間がいっぱいであり、ネットワークを最大限活用させていただいています。

本日、ここに皆さんも岐高卒の信頼のネットワークに入会されたわけです。これは大変名誉なことと感じてもらいたいですし、逆に重大な責務を背負った、とも感じていただき

たいです。責務というと重い感じがしますが、簡単です。「約束を守る」これだけをしっかりと実行していれば良いのです。

私も本校の卒業生であり、誰よりも岐阜高校に感謝していると思っていますので、想いひとしおで話をしてしまいましたが、岐高卒のネットワークのすばらしさを実感し、活かし、更に強くし、大きく羽ばたいて下さい。岐阜高校からたくさんの恩恵を享受し、そしてその恩恵を少しでも返せるように、努めて下さい。ご卒業本当におめでとうございます。

ご来賓の同窓会会長の木方様、卒業生の門出を共に祝っていただき本当にありがとうございます。また折戸校長をはじめとする先生方、特に本年度三年生の担任の重責を担っていただきました先生方、岐阜県下最高の教育と親身の愛情を注いでいただき、誠にありがとうございました。おかげさまで各々がすばらしい仲間たちと共に、今しか味わうことのできない充実の日々を過ごすことができたことと思います。心より感謝申し上げます。保護者の皆さま、本当におめでとうございます。PTA 活動にもご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。

最後になりますが、皆さんは何のために生きていますか？ 人生の目的は何だと考えますか？ 私はシンプルに「幸せになるために生きている」と考えています。つまり人生は「皆が主人公の幸せ探しの旅」なのです。「世のため、人のために汗をかく、それが私の幸せだ」など各々の価値観に合致した幸せを探すのです。その幸せ探しのために、是非、岐阜高校卒業生の信頼のネットワークを最大限活用して楽しい旅をし続けてください。

Enjoy your journey in search of happiness!

ご卒業おめでとうございます！

送辞

在校生総代

寒さが残りつつも、日差しに春の訪れが感

じられる季節となりました。このような良き日に卒業生の皆様のご卒業を迎えられましたことを在校生一同、心からお祝い申し上げます。

さて、先輩方が希望を胸にこの岐阜高校にご入学されてから三年の月日が経ちました。高校生活について何一つとしてわからなかった入学当初から、三年を経た今、卒業式を迎えるにあたり、どのような思い出が浮かんでいらっしゃるでしょうか。仲間と盛り上がった球技大会、自然を感じて過ごした林間学舎、長崎を満喫した修学旅行。きっとどれも素敵な思い出であることでしょう。しかし、そのすべてにおいてたった一つ確かなことがあるとするならば、それは友人と共有した思い出であるということではないでしょうか。「学生時代の友人は一生の宝物」とよく言います。私も、友人とは自分と違う価値観を持ち、違う性格でありながら、それでも離れ難い大切な存在である、と思います。そんな友人たちと共有した時間はかけがえのないものでしょう。

わたしたち後輩にとって先輩方の姿は目指すべき理想像そのものでした。部活動や行事など、様々な場面で先輩方は、優しさと、時には厳しさも持って私たち後輩を引っ張ってくださり、頼りになる存在でした。ですから、先輩方への憧れというのは単なる年上を敬う気持ちだけではありません。その行動力、包容力は、先輩後輩の関係を超えて、人間として尊敬せずにはいられませんでした。そんな先輩方と私たち後輩との思い出を少し振り返らせてください。

やはり、先輩方との一番の思い出と言えば高校生活最大のイベントである岐高祭です。今年の文化祭では、先輩方は演劇に取り組みました。学業だけでも忙しい中、皆様が全力で準備に取り組まれている姿は意気込みに溢れ、見ているこちらまでもが勇気づけられるものでした。中には岐高祭のオープニングを

手掛けつつ、劇の大道具作りにも取り組まれた方や、有志のバンドを組まれながら、クラスの劇にも参加された方もおられ、その多彩な姿に驚かされました。ご本人たちは「当たり前のことだ」とおっしゃるかもしれませんが、多くのことに責任をもって取り組み、その任を果たすことはたやすいことではありません。そうした活動的な姿勢は、間違いなく岐高祭を大成功に導きました。様々な活動で忙しくしておられながら、どのクラスの劇も、キャストの迫真の演技はもちろんのこと、音響や照明のタイミングも息が合っており、高校生活最後の文化祭に掛ける思いがうかがえる見事なものでした。ですから、各出し物の順位を決める投票の際は、どのクラスが優勝するのか、全くその答えはわからないものでした。いっそのこと全クラス優勝にしたいとさえ思いました。

また、体育祭には数々の種目がありますが、その中でも花形と言えば各団が一致団結する応援合戦ではないでしょうか。応援団員は、三年生の団員を中心に、体育祭の数か月前から練習に取り組んでいました。先輩方は、振り付けを覚えることに悪戦苦闘している後輩を優しく指導してくださいました。優勝に懸ける熱い情熱で団を心強く率いてくださいました。そんな姿を見て、私たちも勇気づけられ、自分たちの最大の力が発揮できるよう精一杯取り組むようになりました。そして迎えた本番当日。やはり、いくら練習したとはいえ、どの団の団員も緊張の面持ちでした。ですが、先輩の「今までの自分たちを信じよう」という言葉で心を奮い立たせ、本番ではまるで魔法にかかったかのように美しい完璧な演舞ができました。もちろん、これはどの団も同じで、先輩方の存在があったからこそこの演舞も目を見張るほど華麗な出来映えでした。情熱と的確な指示のできる指導力を持ち、後輩に優しく手を差し伸べる、そんな先輩の姿は今も忘れません。そのような行動を、我々

も来年受け継いでいきたいと強く思いました。もちろん、岐阜高校の応援合戦は応援団員だけで行うものではありません。団席も含めて行います。演舞が終わったときには、団員だけでなく団席も含めた団の一体感を感じられました。この団で活動ができて本当に良かったという達成感と嬉しさ、それ以外何も感じられないような気持ちを各団が感じたことでしょう。体育祭を盛り上げてくださった先輩方、素敵な思い出をありがとうございました。

さて、これから卒業生の皆様が歩まれる時代は新しい力が必要とされる時代です。近年では様々な産業で AI が仕事を代行するようになってきています。例えば、医療現場や情報産業、また農業においても活用され始めています。そのため、今後は AI が持たない思考力や創造力によって、新しいものを生み出す力がより一層必要とされることでしょう。また、海外の大企業に対抗するべく、多くの企業が多才な人材を求めています。そんな新しさを求められる現代において、探究心を持ち続けることは欠かせません。なぜなら、探究心こそが新しさの源であるからです。ですが、その心をいつまでも抱き続けることは困難なことかもしれません。しかし、この岐阜高校という学び舎で先輩方は百折不撓の精神のもと、挑み続ける力を身に付けられました。ですから、自分の限界を決めつけて、「仕方ない」、「どうしようもない」と受け入れるのではなく、新しい時代の声に耳を傾け、いくつになっても「あやしい」、「おかしい」、「不思議だ」と思うことに対して果敢に挑み、探究心を持ち続けてください。先輩たちの背中を見つめ、私たちも進んでいきます。これからも私たちの憧れの先輩でいてください。卒業生の皆様の探究心が、いつか世界を変えていく力になることを切に願っております。

私たちは先輩方がご卒業されてからも、その探究心や行動力に溢れた姿を胸に刻みながら、不断の努力を続ける自彊不息の精神を受

け継ぎ、継承していきます。

最後に卒業生の皆様のますますのご健闘とご活躍を願ひまして、私からの贈る言葉とさせていただきます。

本日はご卒業、誠におめでとうございます。

## 答辞

### 卒業生総代

陽射しが日ごとに暖かくなり、木々の蕾に春の訪れを感じる季節となりました。

私たちは三年前、まさにこの場所で、厳粛な雰囲気の中、入学式を迎えました。真新しい制服に袖を通し、伝統の白い桜の校章を光らせ、新たな生活に胸を躍らせていました。あれから三年間、多くの方に支えていただきながら、私たちは、数えきれないほどの貴重な経験をしてきました。

それぞれの卒業生に、高校生活の中で、印象深い出来事があることと思います。私にとってそれは生徒会の活動です。

三年生の前期、私は生徒会長に就任しました。会長になったからには、今まで誰もやったことがないこと、新しいことに挑戦しようと決意しました。

前期生徒会の大仕事といえば、やはり岐高祭です。オープニングでは毎年恒例のムービーに加え、書道部の協力の元、プロジェクションマッピングを用いた書道パフォーマンスを新たに企画しました。文化祭のしおりはパンフレット型に刷新したり、レイアウトを一から考えて案内図を作り直したり、来てくれた方にわかりやすいように工夫しました。他にも全校制作のパネルの用意、体育祭の部活動対抗リレーの運営準備やクロージング用のスライドショーの制作など、先輩方がこれまで作り上げてきたやり方を踏まえつつも、新しいことへと挑戦しました。そのため、準備から当日までは、本当に目まぐるしくすぎてゆき、息つく暇もありませんでした。文化祭までの限られたわずかな時間で私たちはできるだけのことをし尽くしたのです。その結果



私たちの岐高祭は大いに盛り上がりました。自分たちの汗が、努力が、形になり、多くの仲間から「とても良かった。」と声をかけてもらえて、これまでの苦労が報われたような気持ちになりました。

印象深い思い出はこれだけではありません。部活動では私は自然科学部化学班の部長を務め、結晶構造から天候を読み解くストームグラスについての研究で、学会発表の場を経験しました。海外研修ではホームステイを初めて経験し、異国の価値観の違いに驚かされました。模擬国連では世界の問題に目を向け、様々な立場や価値観が衝突しあう中での、合意形成の難しさを痛感しました。名古屋大学で開催されるグローバルサイエンスキャンパスでは、カーボンナノチューブの研究に参加しました。科学の甲子園全国大会では競技科学で才能を発揮している全国の高校生から刺激を受けました。中でも、準備を重ねて臨んだジャイロ二輪レースでは、日本一軽い機体を作成し、全国優勝を果たしました。人一倍私は課外の活動に取り組んだかもしれません。しかし、こうした活動に参加するかどうかという選択は、私自身が決断したことでした。同じように、ここにいる卒業生は皆、こうして高校三年間、「自分が主役」として、自分の道を見つけて、前へ前へと歩みを進めてきたのです。

「自分が主役」になり、自分で選択したゴールに向かって一心不乱に向かって行くという過程は非常に心躍るものです。知識、体力、人脈、時間。自分の持てる全てを注ぎ込んで何か一つのことを達成するために取り組むという経験は、人生でそう何度もできるわけではありません。

今、この場にいる卒業生の皆さんも、きっとそうだと思います。部活動であったり、勉強であったり、様々な学校行事であったり、人それぞれ打ち込んだものは違うでしょう。満足できる結果に終わらなかったものもある

と思います。しかし、人生でたった一度の高校生活で、目標や夢を追い求め、汗を流して、歯を食いしばってやり抜いたという事実は、どんなトロフィーや賞状よりも重い、私たちの財産です。

「自分が主役」であるということは、他人を頼らない、信じない、ということではありません。私たちは、大勢の方々に助けられて、今ここに立っています。

私たちを育み、常に支え続けてくれた両親。気恥ずかしくて、面と向かってお礼が言えないことも多く、心苦しく思っていますが、本当に感謝しています。ありがとうございます。

私たちを教え導いてくださった先生方。行事の企画も運営も初めてで、右も左もわからなかった私に知恵を貸してくださいました。時には厳しい意見をいただくこともありましたが、いつも優しく見守ってくださいました。

常に隣に立ち、時には背を押し、時には手をひいてくれた仲間や友人たち。一人ではどうにも答えが出ないような難解な問題にぶちあたっても、三人、四人と集まって知恵を絞れば、おのずと光明が見えてくるものでした。それぞれが得意とする分野をもっていて、それらをパズルのように組み合わせたとき、予想もしないような大きな力を発揮できるとわかりました。

在校生の皆さんに伝えたいことがありました。「自分には無理だろう」と他人任せにしていたら、何も達成されません。やるのは自分です。他の誰でもなく、「自分が主役」なんだ、という意識が人を成長させ、夢の実現に向かわせるのです。自分と仲間を信じて、どんどん挑戦してください。

今日、私たち卒業生は、この白く輝く校舎から、それぞれの世界へと歩み出します。これから私たちが旅立つ未来は、私たちが十八年間で学んできたことが通用しない予測不可能な出来事に溢れています。だからこそ、「自分が主役」になり、無限の可能性を追い求め

てゆく信念が大事になります。この時代を生き抜いていく主役は、あくまでも私たちなのです。十八年間の活動を自らの糧として、私たちはより大きくなれると信じています。岐阜高校で学んだ百折不撓・自彊不息の精神を胸に、何事にも挫けることなく、力強く前進する決意をここに宣言し、答辞とさせていただきます。

**三か年皆勤者 64名**  
**淘金賞 7名**

※令和元年度の卒業式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年とは異なり以下のような対策をとって挙行されました。

- ・卒業生の保護者は各1名のみ、在校生は代表者のみの出席に限る。
- ・座席の間隔を空け、出席者はマスクを着用する。
- ・呼名時の返事や、校歌斉唱などは行わない。
- ・式終了後、各座席の消毒を行う。…など

◆■3月26日（水）

■離任の言葉

□ご退職・ご転任の先生(本校での勤務年数)

地歴公民	小川和英	(10年)	退職
地歴公民	森利香	(3年)	退職
数 学	渡邊泰治	(1年)	退職
理科助手	高木里美	(6年)	退職
教 頭	西谷 徹	(3年)	池田高校校長
地歴公民	滝 修也	(1年)	小坂井高校(愛知)
数 学	日比達也	(9年)	学校安全課
理 科	矢追雄一	(8年)	焼津中央高校(静岡)
保健体育	馬淵昭宏	(10年)	ねりびとく推進事務局
英 語	植田美智留	(11年)	武義高校
養護教諭	森 美奈	(2年)	垂井町立北中学校
事 務	篠田季子	(2年)	退職

**先人に学ぶ**  
**地歴公民科 小川 和英**

今から98年前の大正11年(1922)に、岐阜高校の前身である岐阜中学校で「創立五十

年紀年講演会」が行われました。講師は平生 鈞三郎で、演題は「吾邦の学校教育について」でした。講師の平生鈞三郎は、慶応2年(1866)に加納藩士の子として生まれ、明治12年(1879)に岐阜中学校に入学、翌年東京の学校へ転校、その後、財界人(東京海上火災専務取締役、川崎造船所社長、日本製鉄会長など歴任)・政治家(貴族院議員、文部大臣、枢密顧問官など歴任)、さらに甲南学園(現甲南大学など)を創始するなど教育者としても活躍した人物です。

彼はこの講演のなかで、「日本の興廃は全く正当適切なる学校教育の盛衰如何にある」とし、当時の状況を「教育が盛んな割合に人物が少ないのは何故であるか」と疑問を呈し、それは「現代の教育が知に偏している」からであると考えました。その理由として、明治以後の欧米諸国からの「科学的知識の輸入が第一の急務だ」とする発想から「学校教育に於いて知育に重きを置く」ようになったとしています。さらに「現代に於いては、学識なるものが一つの商品の如く扱われている」風潮や、「学校の卒業証書を尊重する思想」がそれに拍車をかけているととらえています。その結果、「精神も肉体も共に不健全な人間」となる。また、「学校入学難の現象」が起こり、児童・生徒が「排他的となり利己主義となる」可能性が高いことを指摘しています。では、彼の教育に対する考え方はどのようであったかと言うと、「人は自分で自分を作ることが最高の教育」、「最高の人格を養成することが教育の目的でなくてはならない」と主張し、「人格崇高(略)にして学識ある人物を養成」しなければならないとしています。

ここで、皆さん、「ちょっと」思い出してください。この考えに似たことを聞いたことはなかったですか。

そうです。本校のスクールアイデンティティである「トータル・パーソン(知性と精神性を高い次元で統合した人間)」です。この

「トータル・パーソン」の実現は非常に難しいと思いますが、この理想の人間像を目指して、謙虚な態度で日々研鑽に励んでください。皆さんの今後のご活躍を期待しています。

さようなら

地歴公民科 森 利香

皆さん、こんにちは。このたび、60歳の定年まで3年を残して早期退職することにしました。

私の拙い授業を、温かい心でニコニコしながら聞いてくれたこと、本当に感謝しています。皆さんのおかげで心穏やかに過ごすことができ、毎日が楽しかったです。

皆さんがそれぞれ望む人生を歩めるよう心から応援しています。ありがとうございました。さようなら。

本校の建学の理念

数学科 渡邊 泰治

わずか1年間でしたが、母校で教鞭を取るという思いがけない機会を得て、皆さんと共に数学を楽しむことができました。ありがとうございました。

私が卒業したのはちょうど50年前です。当時を振り返ると、二年生のときに林間学舎が竣工し焼岳登山をしたこと、東大入試が中止

になり大騒動になったことなどが思い出されます。こんな思い出話をすると、私を岐阜高校のシーラカンスのように思うかもしれません。その目から見ると、本校の現在の発展ぶりは誇らしく思えますが、一方で、本校の建学の理念を感じたり語ったりする場面が希薄になったことが気がかりです。このことについて、先輩として皆さんに一言述べておきます。

岐阜高校の identity は校歌や校章や校訓に象徴化されていますが、それに加えて、建学の理念を如実に象徴化したものが「応援団歌（金華城頭月冴えて…）」です。私の時代では時折この歌を唄いましたが、現在では、応援団のなかで細々と唄い継がれている状況であり、しかも、ほとんどの皆さんがこの歌の正調を聞いたことがないし、その楽譜を見たことがないとのこと。そこで、私とその楽譜（下図）を作りましたので、参考にしてください。

この歌の由来と背景は次のとおりです。歴史を振り返ると、「岐阜」の名は、信長が、中国の故事にある鳳凰が舞い降りたとされる岐山の「岐」と、孔子の生誕地の曲阜の「阜」とをとって名付けたというのが定説です。その

### 金華城頭月冴えて

岐阜高等学校 応援団歌(その1)

♩=72 寮歌風に

きん かじょう と う つき さ えて ばん しょう す べ て しじ ま なり  
 ああ ね っ け つ つ じ のぶ な がの はぎょう は ゆ め と き え は てど  
 ねっ け つ う け し いっ せ んの こ こ ろ び と つ の けん じ らが

5

がい せい の えい ゆう のぶ な がの ゆう と の あ ー と に こ けむ し め  
 あり しむか しを しの び ては けん じむ りょう の お もい あり  
 さくらの かお り みに しみて ね じろか まえて ひゃ くよ ね ん

理由は、彼は、鳳凰に象徴される国の安寧と孔子に象徴される学問（当時は、儒学）による国造りを理想としていたからです。しかし、それは夢と消え果てました。この彼の歴史の悲哀は、実は、岐阜の地に住む我々にとっても悲哀だったわけです。というのは、その後家康が江戸幕府を開いたとき、彼は信長を連想する岐阜の名を忌み嫌い、この地を複数の藩に分割統治させたので、この名は事実上使われなくなり、そして250年が経過したわけです。岐阜の名は明治維新の廃藩置県で復活しましたが、その直後に岐阜高校の前身が創立されました。その建学の理念がこの歌です。

この歌詞から推すと、本校は「信長が理想とした天下布武による国の安寧と学問による国造りの理念を現代に受け継ぎ、議会制民主主義による安寧と steam による国造りを目指す人材を育てる学校」と言えるでしょう。ここで steam とは、science, technology, engineering, art, mathematics の頭文字を並べたものであり、現代版 liberal arts（知識人の一般教養）のことです。この歌は、本校がどのような学校であるかが、しつとりと、しかも熱く歌い込められていて、「第二の校歌」とも言えます。

皆さんには、是非この歌を末永く唄い継いでほしいと考えています。そして、50年後に、皆さんのなかで、岐阜高校の建学の理念を次の世代に語る人が出てくることを期待します。

#### 42年という時間

理 科 高木 里美

高校を卒業してその年に理科実習助手として、新設されて3年目の高校へ就職しました。以後42年間、いろいろな高校へ転勤しながら勤めてきました。42年前のことは鮮やかに思い出せるのに最近のことはすぐに忘れてしまい困っています。

最初はモルのことさえよくわからず、試薬を作るのにも苦勞していました。一緒に働いた多くの先生方にたくさんのことを教えてい

ただき、一人前の顔をしてここまで勤めることが出来ました。

42年間で情報技術は信じられないくらいの進歩をしてきましたが、実験書の実験はほとんど変わっていません。科学の基本はその中にあるような気がします。

皆さんと一緒に実験をし、反応に驚いたり予想通りの結果が得られて喜んでいるのをみて、元気とやる気をたくさんもらえました。皆さんがこれからの世界で活躍することを期待しています。

#### 天体観望会

教 頭 西谷 徹

平成29年から3年間、岐阜高校の教頭として勤務しました。でも、岐高生の皆さんとは、それ以前から近い関係にありました。理科の小野浩志先生と一緒に、夏休み明けの8月末、「岐高祭」の準備を終えて帰宅する岐高生を無理やり捕まえて、天体望遠鏡で土星や木星等を見せてきました。初めて土星を見た時の岐高生の反応は、いまだに私の記憶に強く残っています。小さいけれど本物を見て感動する人、自分の見ている夜空の方向や天体望遠鏡の筒先を不思議そうに見る人、望遠鏡の仕組みや原理などを質問する人などなど。天体観望会を開催したときに、とてもうれしい反応ばかりでした。その気になれば、高精細な天体画像はネットや雑誌で手軽に見ることができます。それらに比べれば、はるかに見劣りする小さな土星や木星の像を見て、同じ時間（厳密には何分何秒かのズレがあるが）、繋がった空間を意識し、興味の有る無しに関わらず、つくり物ではない本物を感じることができる人は、そう多くはいません。教頭という立場上、皆さんに接する機会があまりなかった私にとって、年に一度の天体観望会は、岐高生のすばらしさを感じることができる楽しいひとときでした。ところが、残念なことに、これまで続けてきた岐高祭前の天体観望会が、去年は天候に恵まれず、開催できませ



んでした。今夏、コロナ災禍が収束していれば、岐高生の興味深い反応に出会えることを期待して、天体望遠鏡を抱えて岐阜高校に寄ります（きっと、小野先生からお知らせがあると思います）。それまで、体調に気をつけて頑張ってください。またお会いしましょう。

**支えていただきながら**

**地歴公民科 滝 修也**

初めて岐阜高校に訪れたとき、「岐阜城に見守られているような学校だな」と思いました。私は学生時代に織田信長の研究をしていたので、そのような高校で働くことができ、幸せな思いをすることができました。ありがとうございました。

1年間でしたが様々な思い出ができました。副担任をしていた3年3組の文化祭の演劇「ライオン・キング」。全体の結果は3位でしたが私の中ではダントツの1位でした。球技大会のサッカーで大事件（事故）が起こったが、次々と生徒チームをなぎ倒していく教員チーム。結果は2位と優勝できず、少し心残りです。サッカー部の顧問もやらせていただき、G1リーグ昇格を決めたことなど、書き出したら尽きませんが、おかげさまでとても充実した日々を過ごすことができました。

さて私事ですが、この度、愛知県の教員採用試験に合格し、愛知県の高校で勤務することになりました。出身地である愛知県の教員採用試験に合格するという目標を、奇しくも岐阜高校にきて達成することができました。しかし、当然のことながら自分一人の力で達成したということではもちろんなく、多くの先生方や生徒の皆さんに支えていただきながら達成することができました。感謝の念に堪えません。

この岐阜高校で培ったことは私の財産です。これからの自身の教員生活にこの経験を生かして、今後も邁進してまいります。講師として1年という短い間でしたが、お世話になりました。改めて感謝申し上げます。本当にあ

りがとうございました。最後に皆様のご健勝と岐阜高校のますますのご発展をお祈り申し上げます。

**とことんやりきる**

**数学科 日比 達也**

皆さん、岐阜高校で生活して自分よりすごいと思える同級生に出会っていますよね。良い機会を逃してはいけません。その子達に引っ張り上げてもらいましょう。そして自分の力が溢れる場面では周りを引き連れてさらに大きな力にしましょう。

学んだ成果はテストの得点や受験結果に表れるだけではありません。いろいろな人やものに触れ、一步踏み込んで新しい世界を覗いてみましょう。受験+（部活）+ $\alpha$ を目指してください。いつしか余裕がなくなって一回のテストの合格、不合格にばかりが気になってしまい苦しんでいる人もいるでしょう。しかし、先輩の中には、再試の常連でも悪戦苦闘を重ね、不器用ながらもやるべきことはやり、受験以外の活動にも精力的に参加し、卒業後、素晴らしい実績を上げている人がたくさんいます。少々、苦労し我慢しなければいけないことがあっても一時のことです。大切なのは自分が興味を持てること探し続け、踏み込んでいくことであると思います。私もそんな卒業生の姿に勇気づけられました。

時間はたっぷりあります。家庭環境や健康面それぞれで状況は異なりますが、人生の節目でやりきったと思える自分であってください。やりきった後には、うまくいってもそうでなくてもそこでしか得られない貴重な財産が必ず生まれます。そして次に生きていきます。どうか、とことんやりきって豊かな人生を歩んでください。将来、皆さんの力が社会に役立つことを楽しみにしています。

**自分の人生は自分で面白くするしかない**

**理科 矢追 雄一**

家庭の都合で静岡県に引越すことになりました。岐阜県の教員として16年間勤めた半分

の8年間を岐阜高校で過ごしました。今でも岐阜高校でまだまだ働きたかったなあ、という気持ちがありますし、離任して改めて岐阜高校の素晴らしさを実感しています。いくつか思い出をお願いをして離任の挨拶としたいと思います。

まず平成30年4月に入学し、担任した1年7組の皆さん。昨年度末に倒れて、長期入院の結果、クラスを閉じることなく2年生に進級となってしまい申し訳ありませんでした。岐阜県で担任した最後のクラスになりました。やんちゃで勉強をあまりしないクラスでしたが、パワーとユーモア、優しさを備えたこれまで担任した中でも最高のクラスでした。4DRIDE、岐高祭史上最高の出来と人出でした。本当にありがとう。新型コロナを含め、様々な苦難に直面している学年ですが、きっと君たちならできる！！ 岐阜高校での三年間で育ち、力を蓄え、開花させる今春（令和3年3月）の吉報を楽しみにしています。色々な節目には連絡してくれると嬉しいです。

生物班の皆さん。いろいろな研究テーマを残して離れたことを申し訳なく思います。でも大丈夫。研究は、離れていても一緒にできます。研究の仕方や楽しく豊かに生きる姿勢をみんなには伝授したつもりです。多くの大学の先生たちが、これまで生物班の研究を支えてくれたように、私も外部から支えます。春先の数千匹のサンショウウオの飼育と保全、世界初の性フェロモン研究、アユと冷水病の毎月300kmの行程の調査研究、筋肉痛になるほどでかいオオサンショウウオの調査など、昼夜を忘れて調査、研究活動を一緒にした時間は一生の宝物です。そばで一緒に活動はできませんが、世界はつながっています。オンラインも簡単な時代です。

岐阜高校で学ぶ皆さんを見ていいなあと思うことは、優秀な仲間たちに囲まれて謙虚になれることだと思います。世の中、何でもできる人はいませんし、全ての人がリーダーに

なる必要もありません。自分の得意なことでリーダーをフォローしたり、見えないところで組織を支えたりする人も、間違いなく必要です。岐阜高校で過ごす三年間で、自分にできることは何なのか、一人一人に見つけてもらえたらと思います。

岐阜県最高峰の高校入試を突破して入学した岐阜高生は学力面で大変優秀です。三年間の岐阜高校生活で学力を伸ばすことはもちろんですが、持てる全ての力に磨きをかけ、人のため社会のために役立つ人に育ってほしいと思います。単なる一流ではなく、超一流を目指して下さい。そのために、よく遊び、よく学ぶことで興味関心の幅を広げてほしいと思います。医師や弁護士のような分かりやすい職業だけでなく、地道で大切な基礎研究を行う研究者、新しい文化を生み出す、または継承する芸術家、スポーツ選手、そして私たちの後を引き継ぐ教員にも。様々な「ものさし」をもち、多様な人材が育ってほしいと思います。ただのガリ勉が尊敬されず、他人にはない特技や得意分野を持つ生徒が一目置かれ、ひとつの分野にマニアックなほど没頭する生徒がもっと育つ学校であり続けてほしいと思います。それほど何かに集中できるのも、この年代の皆さんに特有の美点だと思います。のびのびと個性を發揮し、未来の可能性を広げて行って欲しいと思います。8年間の中で、そんな岐阜高生に沢山会った気がします。生物班ではもちろんですが、日本一を常に目指した科学の甲子園、全米一を狙ったサイエンスオリンピック、多くの方々と出会い、心が震えた海外研修（アメリカ・マレーシア）、職業・学問体験プログラムなど。多くの場面でインスパイアされ、生徒と共に成長することができました。20年前、研究に没頭していた学生の頃、常に世界を意識していましたが、少し遠い存在でした。8年前、岐阜高校に赴任した時、世界を意識することは忘れていました。8年たって岐阜高生と共に活動して、

世界はとっても近い存在になりました。グローバル化した社会の中で、どう生きていくか、これからも考え、成長し続けたいと思います。

子どもは大人の希望であるといわれますが、大人こそ、子どもたちの希望であり続けたいと思っています。人生には色々な幸せの形があると思います。私のような人間がいて、サンショウウオや魚について毎日毎日楽しそうに、一生懸命に幸せそうに研究したり、学んだりする姿が、誰かの琴線に触れたのなら嬉しいです。自分の人生にワクワクしているか。明日の自分に、半年後、一年後の自分に、5年後、10年後の自分にワクワクしているか。これからも、そう問い続けながら、自分自身にワクワクして生きていきたいと思っています。自分の人生は自分で面白くするしかない。「私の最高傑作は次回作だ！！」と喜劇王チャールズ・チャップリンはっています。岐阜高校での皆さんと過ごした時間を糧に、静岡から岐高生のライバルを、日本を支える、世界で活躍する人を育てたいと思います。

生徒の皆さん、先生方、本当に充実した時間をありがとうございました。さらなる飛躍を応援しています。

10年間

保健体育科 馬淵 昭宏

在籍した10年の間には様々なことがありました。自分のブーツが盗まれたり、長崎の国体から岐阜に戻ってきた数時間後には再び修学旅行のため長崎にいたり、体育の全国研究発表ではグラウンドでの研究授業前にスプリンクラーから大量の水が放出されていたり、ある学校行事では生徒引率のバス車内で、とある正担任の先生に「馬淵先生、『およげたいやきくん』知ってる？ 私は『タッチ』を歌うから、あなたは『およげたいやきくん』を歌いなさい」と指示されたり（しかも『タッチ』は滅茶苦茶うまかった。あれは絶対十八番！）、林間学舎で女子部屋の内鍵インロック事件が起こったり、今年度は脳挫傷・急性硬

膜外血腫を診断されました。

これまで岐阜高校のお役に立てたことは1mmもございませんが、自分のやりたい事は十分すぎるほど取り組むことができ、楽しんで仕事することができました。本校で担任業務や部活動を通じて生徒の皆さんの人生に関わることができたこの10年間は本当に幸せなものでした。これも先生方や生徒の皆さんのおかげだと感謝の念に堪えません。ありがとうございました。

やりがいのある仕事に打ち込む機会

英語科 植田 美智留

次の問題を日本語にしなさい。(まずは辞書を使わず自力でどうぞ。)

**Far and away the best prize that life has to offer is the chance to work hard at work worth doing.**

(Theodore Roosevelt 26<sup>th</sup> U.S. president 1858-1919)

【考え方】

- far and away+最上級  
最上級の強調、by far+最上級と同義
- the best prize that SV  
先行詞 the best prize を that 以下の関係詞節が修飾
- has to V  
ここでは特に意味がなく、音調を整える役割もあるので無視
- Far and away..... offer  
までが全体の S になる構造が見ぬければ OK
- at work worth doing  
名詞 work を worth doing が後置修飾している構造
- the chance to V  
to 不定詞の時は『～する機会』、of ~ing の時は『～する可能性』  
では、解説を参考にしてもう一度日本語にしてみよう。

実際に手を使って紙に書いてみるのが大

切です。読み返して、こなれた日本語にしましょう。ただし、飛躍しすぎないように。解答時間は3分です。……できましたか？

#### 【解答例】

「人生が与えてくれる素晴らしいことの中で突出して素晴らしいことは、やりがいのある仕事に打ち込む機会である。」

第26代アメリカ大統領ルーズベルトの言葉です。私にとって、岐阜高校で過ごした11年間は、まさにこの言葉そのものでした。やりがいのある仕事＝聡明な岐高生に英語を教えること、に打ち込める機会をいただけたことを心より感謝しております。

授業で何度もお伝えしましたが、英語力は累積学習時間に比例して伸びていきます。どうか、英語を勉強するのではなく、英語で勉強できるレベルまで、生涯英語を学び続けてください。母国語だけで生きるよりも、ずっと豊かで楽しく広い世界が待っています。

11年間、ありがとうございました。

#### 明けない夜は無い

養護教諭 森 美菜

2年間という短い間でしたが、いつも温かく素敵な先生方、毎日を一生懸命に生きている生徒の皆さんが居るこの岐阜高校で過ごすことができ、本当に感謝の言葉しかありません。この2年間は、自分の人生において大きな2年間だったと思います。ありがとうございました。

私は授業へ行くことが無かったので、顔を知らない生徒も多々いると思いますが、中には保健室でお話ししたり、保健委員で一緒にお仕事をしたり、日々の生活の中でたくさんの生徒の皆さんと関わることができ、とてもいい思い出です。登校日の貴重な時間にも関わらず、保健室に会いに来てくれた生徒の皆さん、本当にありがとう。とても嬉しかったです。

ソフトテニス部の皆さん、しっかり挨拶する場面もなく去ることは心苦しいですが、3

年生・2年次生は2年間、1年次生は1年間、ありがとうございました。皆さんがソフトテニスでも人としても成長する姿を見守ったり、部活のことを考えたり、色々なお話をしたりした日々は私にとってかけがえのない時間でした。ずっと応援しています。

最後になりましたが、岐阜高校の皆さん、もしも今悩み苦しんでいる人がいるならば、この言葉を伝えます。「明けない夜は無い」。時間はかかるかもしれませんが、きっといつか、ふと暗いトンネルを抜ける時が必ず来ます。その時まで、どうか気持ちを持って、身体の健康を第一に生活をしていってください。

#### グローバルリーダー養成事業

※新型コロナウイルスの世界的な感染拡大のため、グローバルリーダー養成事業の多くも計画の変更・中止を余儀なくされました。その関係もあり、令和元年12月～令和2年3月の事業については、次号で記載します。